

北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 14 号 (通巻 No.266)

2008 年 9 月 1 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・スルメイカは道東太平洋沿岸に広く分布。
- ・分布密度は前年より高い。
- ・大きさは前年より小型が主体。

- ・調査期間 : 2008 年 8 月 25 ~ 29 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 6 台を用いた 3 時間半の夜間操業

1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 8 調査点全てで漁獲され, 分布は十勝沖から根室沖までの広い海域にわたることが確認されました (図1)。各調査点のスルメイカの分布密度 (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.10 ~ 18.14 で, 広尾沖, 浜中沖, 落石沖の 3 調査点で 10 を超えました。全調査点の平均分布密度は 7.35 で, 前年 (4.16) を上回りました (図2)。

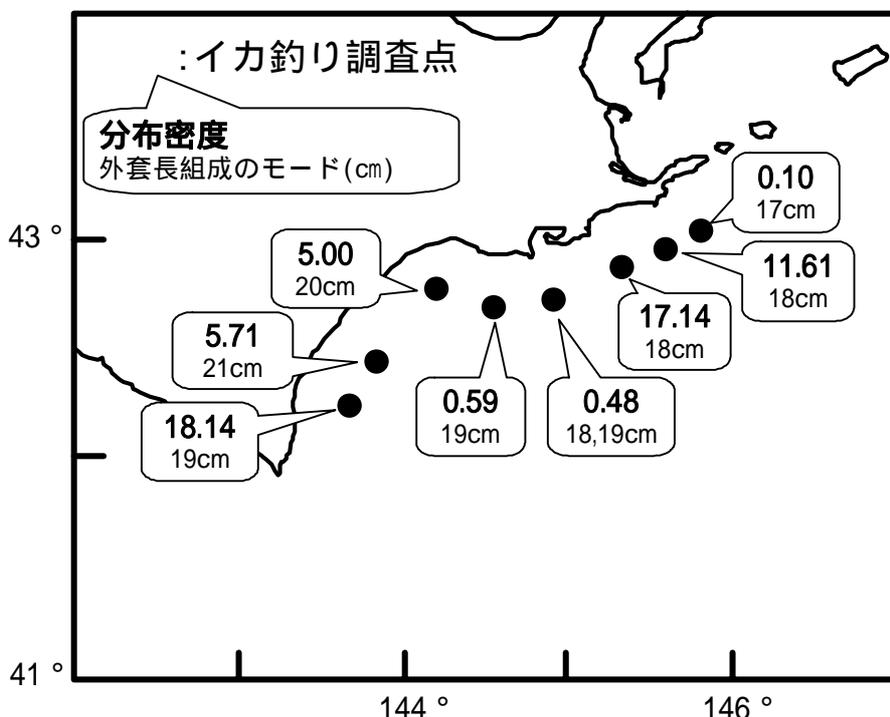


図1 2008年8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード

分布密度はイカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数で示した。
モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

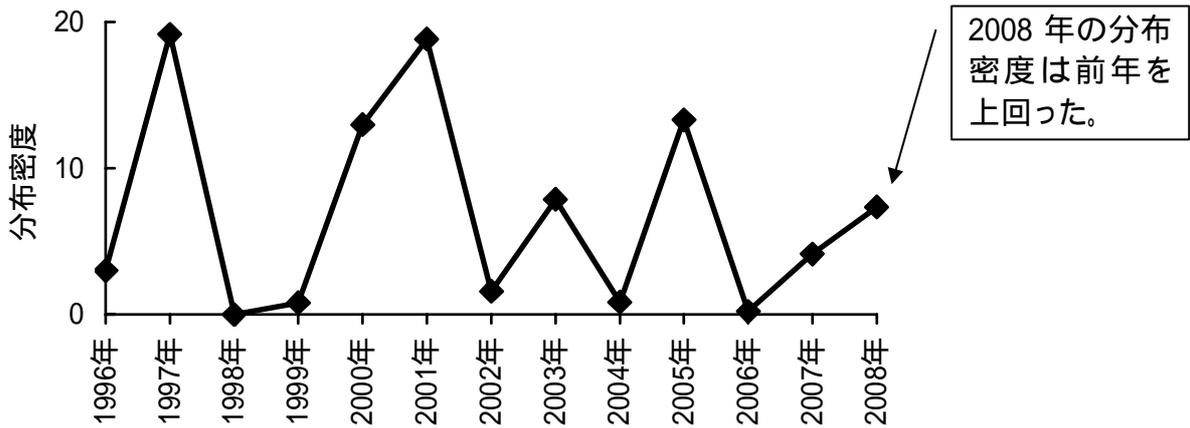


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度
分布密度はCPUEの平均で示した。

2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の範囲は14~23cmで、22cm以上の大きい個体が前年よりも少なくなっていました(図3)。

また、釧路以西の方が、釧路以東よりもやや大きい傾向もみられました(図1)。

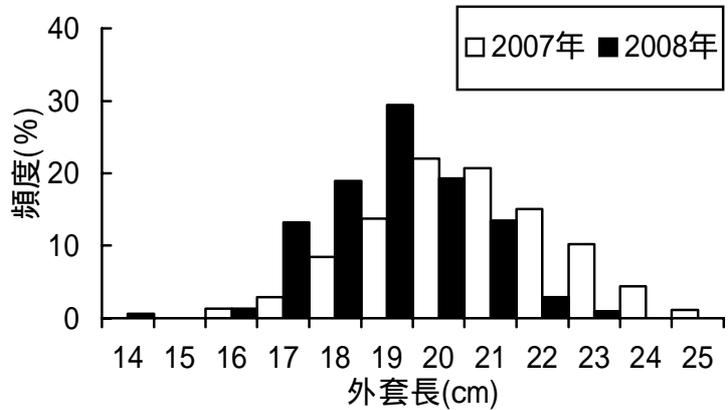


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

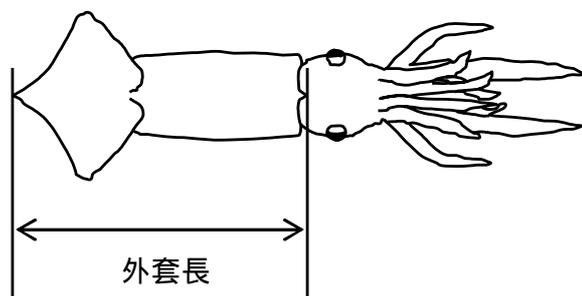
3. 表面水温

調査海域の表面水温は 13.5 ~ 16.4 で、前年(14.9 ~ 18.4)より1~2ほど低くなっていました。

4. 標識放流調査

分布密度の高かった落石~浜中沖の2つの調査点で合計約300個体のスルメイカについて標識放流調査を実施しました。

「ク01650~ク01967」と書かれた黄色のタグの付いたイカを見つけた方は、お手数ですが最寄りの水産試験場までお知らせください。



本調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。

(文責: 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)